

広報



しべつ

萌える海と大地

さわやか交流郷



今月の主な内容

- 平成6年度町表彰式
- 「鮭」のシンボルマーク決定
- 「標津営林署」存続決まる
- 標津病院・医師紹介

毎週土曜日は「標津・魚の日」だよ！

漁業者自らが新鮮な海の幸を格安で販売し、消費拡大を図ろうと、毎週土曜日、町商工会前駐車場で行っている「標津・魚の日」の即売会が大好評です。

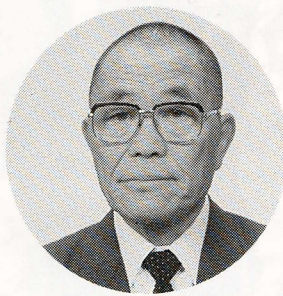
町内はもとより、町外からもたくさんの人でにぎわっています。

個人9人が喜びの受賞

平成6年度 標津町表彰式



〈川北〉 矢吹 美保さん (68)



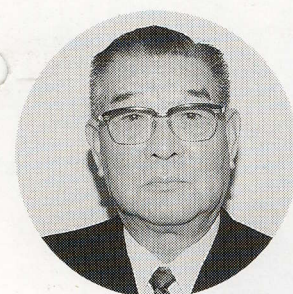
〈北標津〉 早川 永一郎さん (74)



〈川北〉 素利 義春さん (69)



〈浜古多糠〉 坂口 孫一さん (70)



〈標津〉 渋谷 辰雄さん (78)

教育文化功労賞(1人)

表彰式には被表彰者や来賓など八十人が出席。「町歌斉唱」に始まり、「先人に対する黙とう」をささげ、受賞者の紹介とともに表彰並びに感謝状の贈呈のあと、国や道などから表彰された方々が紹介されました。

山口助役の式辞では「本町が今日あるのは郷土の建設に寄せられた町民一人ひとりの英知とたゆまぬ発展への努力の賜もの。本日、表彰された皆様方は、それぞれの立場で地域社会の発展に尽くされ、心から尊敬と感謝の念を表わします。今後も従来にまさる町づくりに対するご啓発やご協力を賜りたい」と述べました。

受賞者を代表して、早川永一郎

社会功労賞(2人)

平成6年度標津町表彰式が十一月十八日、町農村環境改善センターで開催されました。

この表彰式は本町の経済・社会福祉・教育・文化などの発展に顕著な功績のあった個人や団体に對し、町表彰条例に基づき表彰状を贈りました。

今年度は功労者五人、優良勤労者四人を表彰、また三十年間町税納期内完納者と公益のため多大の寄付をされた方々に感謝状が贈られました。

産業功労賞(2人)

さんが「この度の受賞は身が引き締まる思い。これからできる限りお役に立ちたい」と、謝辞を述べられ表彰式を閉じ、引き続き祝賀会が行われ、受賞を喜び合いました。

写真以外のそれぞれの被表彰者は3ページ下のとおりですので、ご紹介します。



祝賀会では受賞を喜び合いました

功績を たたえて



表彰状を受け取る受賞者

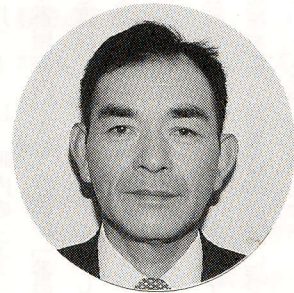
優良勤労者(4人)

野口 さき子さん(57)
(標津)



=標津漁協冷凍加工場勤務=

葛西 清三郎さん(57)
(標津)



=宮井商店勤務=

小野 登喜子さん(56)
(標津)



=ホテルワカマツ勤務=

日比野 利春さん(55)
(標津)



=阿寒バス(株)標津営業所勤務=

町税納期内完納表彰

▽三十年間納期内完納者表彰

青木一雄さん(古多糠)・石田勝美さん(北標津)・伊藤悦子さん

(同)・井上均さん(古多糠)・遠藤昭男さん(同)・大谷武美さん(川北)・大桃健作さん(北標津)・大桃幸男さん(同)・小笠原一郎さん(川北)・奥村久雄さん(伊奈仁)・小山内国宝さん(川北)・小野忠義さん(古多糠)・小原稔雄さん(古多糠)・加藤鶴雄さん(川北)・金井木代太さん(古多糠)・川瀬孝一さん(古多糠)・菅野正敏さん(同)・工藤松夫さん(北標津)・栗栖孝行さん(同)・栗栖守さん(同)・黒坂正作さん(標津)・近藤清治さん(同)・小岩晃さん(茶志骨)・小玉茂樹さん(古多糠)・坂口宗光さん(同)・匂坂勝郎さん(茶志骨)・桜井幸雄さん(川北)・故佐藤得三さん(古多糠)・更谷直市さん(茶志骨)・齊藤庄治さん(川北)・佐藤俊二さん(標津)・柴田千代治さん(忠類)・下山一夫さん(川北)・杉本政秋さん(古多糠)・陶山保さん(忠類)・高橋道治さん(北標津)・故田中恵さん(同)・田中利男さん(同)・田中不二夫さん(同)・田畑寛さん(川北)・田村豊さん(古多糠)・武田政男さん(同)・千葉博志

さん(川北)・寺崎勲さん(古多糠)・徳永潔さん(川北)・響敏重さん(北標津)・響秀信さん(同)・星源太郎さん(古多糠)・間野一弘さん(薫別)・丸山満夫さん(古多糠)・三船量吉さん(薫別)・村上順貞さん(北標津)・森井登さん(川北)・山下清さん(北標津)・山田辰吾さん(忠類)・弓場重光さん(川北)・吉田国吉さん(古多糠)・吉田龍一さん(北標津)・類瀬初之助さん(標津)・渡辺運雄さん(同)

公益多額寄付者表彰

株式会社上田組(川北)

多種表彰者のご紹介

〈褒章の部〉

株式会社上田組(川北)

〈表彰の部〉

▽総務庁長官表彰

佐々木信一さん(標津)

▽道社会員献賞

田村豊さん(古多糠)

▽日本消防協会長表彰

加瀬藤夫さん〈特別表彰〉(崎無異)・小原稔雄さん(古多糠)・古瀬幹士さん(川北)

以上のほかにも各種表彰を受けた方々がありますが、割愛させていただきます。

サケのシンボルマーク決定 全国から277点の力作

札幌の樽崎さん(美術専門1年)が特選に

特選には札幌市の樽崎愛美さん(北海道総合美術専門学校一年)の作品が選ばれました。樽崎さんの作品は、サケの成魚が北海道に巻

生産、加工、味の三拍子そろった日本一の「標津のサケ」をデザインしたシンボルマークを募集していた標津町サケ・ホタテ消費流通対策協議会(会長・鈴木輝英標津漁協組合長)は、十一月十八日、町農村環境改善センターで選考会を開き入賞作品を決定しました。

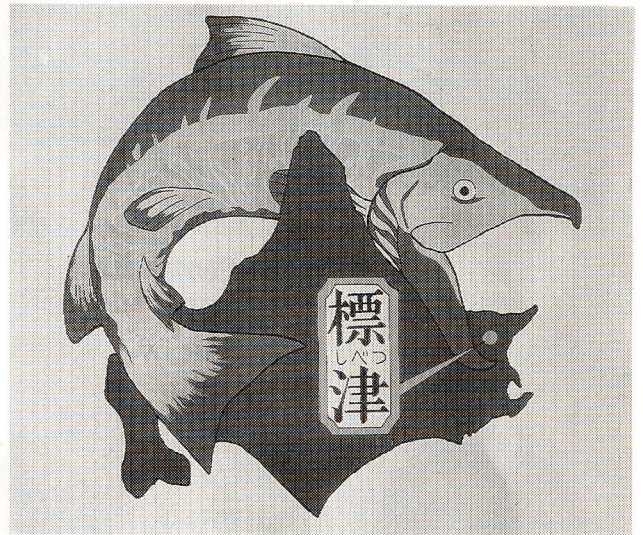
公募は全国のデザイン専門学校にダイレクトメールを送って応募を呼びかけるなど、積極的なPRが実って、遠くは熊本県、佐賀県など全国各地から予想を大幅に上回る二百七十七点もの力作が寄せられました。

また、入選作品以外にもすばらしい作品が多かったことから、「落選作をただ返すのは惜しい」と、十一月二十二日、町内の三十二カ統の番屋の内、十一カ統が「番屋賞」を選び、番屋のシンボルとして看板などに利用することになり、提案者の戸田雅彦・同協議会実行委員長は「作品を寄せてくれた人と、番屋をもつ漁業者の交流につなげたい」と話しています。

入選作品は写真のとおりです。

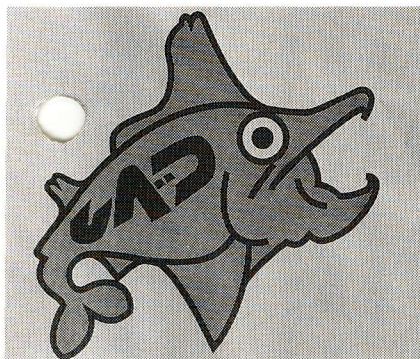
「番屋賞」も選り
番屋のマークにも

サケ・ホタテ消費
流通対策協議会

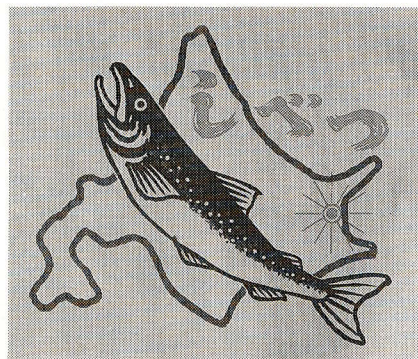


特選 樽崎愛美さん(札幌市)

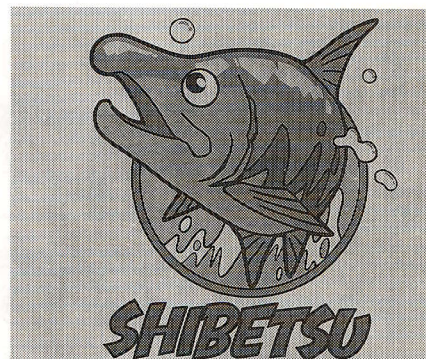
標津産サケをPR



中西 和哉さん
(石川県)

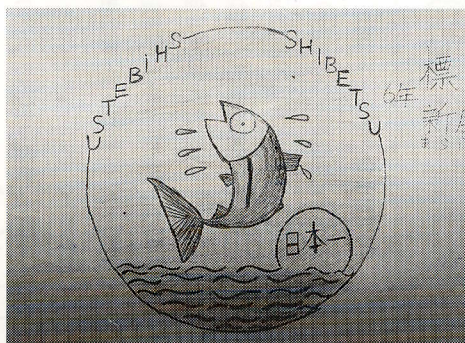


北川 治さん
(愛知県)

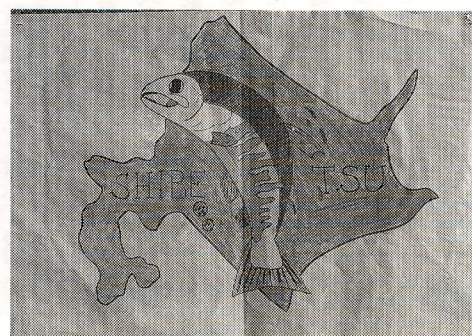


中澤 夏希さん
(東京都)

〔一般の部〕
入選
(左の3点)



新居 志宇さん
(標津小6年)



古賀 功一さん
(標津小6年)

〔小中学生の部〕
入選
(左の2点)

毎週土曜日の「標津・魚の日」の即売会が町内外から、人気を呼んでいます。

町内の水産関係者が七月に結成した「標津町サケ・ホタテ消費流通対策協議会」が九月二十四日から町商工会駐車場で行っているもので、標津の新鮮な海の幸を格安で販売しています。

十一月まではサケの原価販売がメインでしたが、十一月末にはサケ定置網漁が終了するため、今後はホタテ販売に主役が入れ替わります。

十一月十二日からさっそくお目見えしたホタテは、一キロ二百円



新鮮なホタテも加わり、にぎわいを見せる「魚の日」即売会

「標津・魚の日」即売会 大好評！

—12月はホタテがメイン—

の格安だったことから、第一トンを用意しましたが、二百人余りの人が開始時間を待ち切れずに列をつくり、一人十キロまでの制限販売にもかかわらず十分で売れ切れ、急きょ、一トンを追加しましたが、三十分もたたずに売りきれほどの人気ぶり。

十一月二十六日には、サケ水揚げ日本一奪回記念として、標津漁港地方卸売市場で生サケ、新巻、イクラ、ホタテなどの販売のほか、あきあじ鍋先着二百食を無料サービスするなどの大漁感謝祭も行われ、ますます「魚の日」が人気を呼びそうです。

（地）（場）
（産）

第2弾

新鮮なシロザケ(銀毛)の缶詰

「銀の輝き」製造販売
「銀の旅立ち」

ふれあい加工
体験センター

水産加工の技術開発などを手がけている町ふれあい加工体験センターでは昨年、地場産のシロザケを使った水煮缶「銀の恵み」を開発し評判になったのに

続き、今回は第二弾として「銀の輝き」「銀の旅立ち」の二種類のサケの缶詰を開発、この度、試験販売を開始しました。

今回開発された

「銀の輝き」はシロザケをフレック状にして油漬にしたシーチキンタイプ。あっさりしているので、サラダなどに最適と

一方、「銀の旅立ち」はシロザケの中骨と地元のフキをしようゆ、砂糖、酒などでじっくり煮込んだもの。地元の家で古くから食べられているマスとフキのアラ煮の味付けを再現しました。

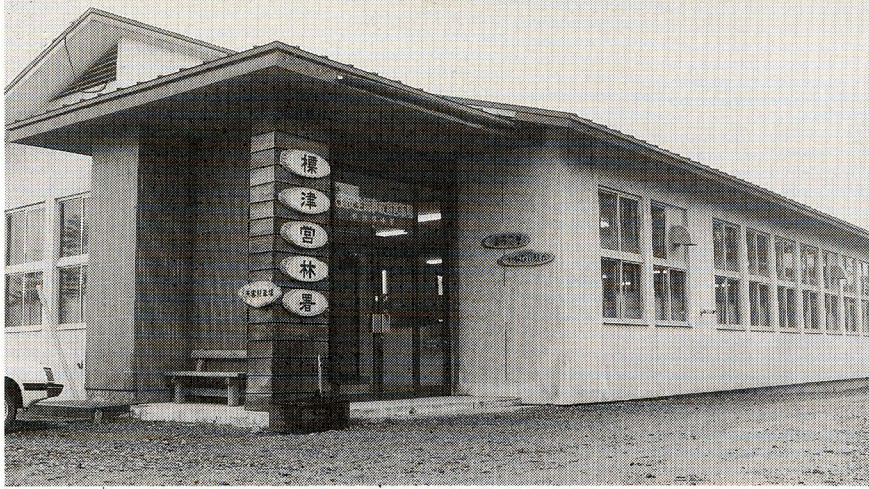
ネーミングも銀シリーズとしてストーリー性を持たせています。価格は三種類とも一個二百円。贈答用として「銀の恵み」を加えた三種類二個づつ詰め合わせで、一セット千五百円（価格はいずれも希望小売価格）。ほかに三個セットもあります。



贈答用にも人気の3種類6個入りの缶詰セット

販売は町内の商店やサーモンハウスで行っていますが、同加工センターの生産能力は一日百二十缶で、需要に追いつかない状況が続いています。

（※同加工センターでは販売は行っておりませんので、ご了承ください。）



『存続』 決まる

—標津営林署—

林野庁は、このほど本年度末までに道内十一の営林署を統廃合する方針を発表しましたが、今回統廃合が心配されていた標津営林署は、存続することが決定しました。

標津営林署は、地域の豊富な森林資源の保護と活用のため、昭和三十六年に開庁しましたが、昭和五十二年に示された「国有林野事業の特別整備計画」（長期合理化計画）以来、合理化、統廃合の矢面に立ってきました。人員の削減、組織の合理化は避けられなかったものの、幾度となくあった廃止の危機を乗り越えてきた歴史があります。

町民の

総意が実る

この度の存続決定も、存続に対する陳情や町内会、議会決議など町をあげた粘り強い運動が実ったものであり、林野庁など関係機関のご理解をいただいたものです。なお、中標津営林署は標津営林署に統合され、管理センターになります。

存続が決定した

標津営林署



はまなす苑に

『出前学芸会』

—忠類小の児童が熱演—

十月三十一日、忠類小学校（山田武校長・児童六人）は、特別養護老人ホームはまなす苑で、「出前学芸会」を開き、お年寄りたちを喜ばせました。

この初の試みは、児童の体験学習と高齢者とのふれあいを兼ねたもので、舞台装置、衣装などをトラックで運び、PTAも協力し実現させました。

出し物は器楽演奏で「水戸黄門」遊戯「蝶のフラメンコ」写真「一輪車演技、劇「あじゅとずしおう」などのほか、児童の母親ら



幸福の木が花咲く

—はまなす苑—

はまなす苑にある幸福の木が花を咲かせて、話題を呼んでいます。

この木は同苑がオープンした昨年四月に役場庁舎から運ばれたもので、今では三メートルもの高さに成長しました。

「お正月を前に何か幸運が訪れるのでは」と村山施設長は話しています。

七人も「なにわ節だよ人生は」の踊りを披露しました。

お年寄りたちは、「たいした、じょうずだったね」「自分の子供のころに戻ったよ」と感激していました。

山田校長は「これほど喜んでくれるとは思わなかった。来年もできれば訪問したい」と話していました。

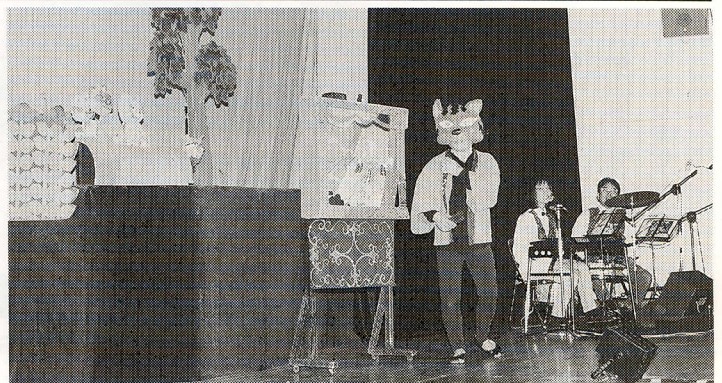
人形劇を楽しむ

—標津おやこ劇場—

NHKテレビなどで、おなじみの人形劇団「ポポロ」による公演が、十一月十日、標津小学校体育館で開かれました。

同公演は、標津おやこ劇場（椎久真理子代表）の主催で開かれ、出し物は「ブナよブナよ」と「百万回、生きたねこ」。

うたと人形による笑いもまじえたエキサイティングなライブに会場を訪れた親子連れなど約四百人は、ステージにくぎづけとなり、真剣に見入っていました。



まちの話 題

根室、釧路管内の郷土芸能の祭典である、「第三回釧根郷土芸能フェスティバル」が、十一月十二日、町農村環境改善センターで開かれ、十二団体の太鼓保存会が出演し、勇壮な太鼓演奏を披露しました。

しべつとどわら太鼓保存会（渋谷辰雄・保存会会長）が、二十五周年を迎えたのを記念して、今年の本町で開かれました。

釧根郷土芸能フェスティバル

しべつとどわら太鼓
25周年記念



同保存会の演奏曲は、三味線もまじえた「金山流れ打ち」と、翁（おきな）、おかめの面を着けコミカルに踊りながら打つ「祝い太鼓」の二曲を披露。約五百人の観客は盛んに拍手を送っていました。

渋谷会長は「これを一つの節目にもっと会員を増やし、町の名物として長く活動を続けたい」と意欲を燃やしています。

青、黄、赤、のもちで街頭啓発

川北地域子ども会

川北子ども育成連絡協議会（吉田智会長）は、十一月三日、川北公民館前で交通安全、防犯もちつき大会を開催。川北市街とサーモン科学館入り口で、信号機の色に見立てた三色のもちをドライバーに配り、交通安全と防犯を呼びかけました。



資源を大切に

消費者協議会が
古紙回収

「限りある資源を大切に」と、町消費者協議会（田村君江会長）は、十一月十四日、町民の協力を得て古紙回収を行いました。



同会では、古新聞、雑誌、ダンボールなどの回収を毎年、年二回実施しており、今回は四・八トンもの古紙を回収、さっそく業者に引き取ってもらいました。

また、回収した中には牛乳パックもあり、標津農協店舗に出し、トレットペーパーに交換してもらい、川北公民館で使ってもらうことにしました。

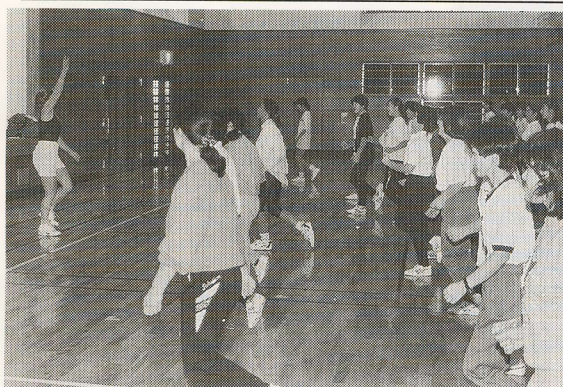
エアロビクスサークル始まる

英語指導助手のサルカーズさんが講師

今年七月に英語指導助手のキャサリン・サルカーズさんが、講師を務めるエアロビクスサークルが鳩ヶ丘体育館で十一月五日からスタートしました。

サルカーズさんは、カナダでエアロビクスのインストラクターを行っていた経歴を持っていることから、この度エアロビクス愛好会が講師をお願いしたものの、

軽快な音楽が流れる中で、基本的な動作から始まり、徐々に熱を帯び、六十一人の参加者は快い汗を流していました。



先生と父母が文化祭で熱演

標津中・文化祭

十一月五日、六日に標津中学校の文化祭が開かれ、六日の舞台では先生と父母によるいじめをテーマとした劇「みんな大きらい！」が披露されました。

舞台に立ったのは生徒のお母さん八人と男の先生五人。先生が詰め襟、お母さんと先生一人がセーラー服で登場すると、ドッと笑いが広がりました。

生徒たちに笑いと感動を与え、生徒と先生、父母の三者のきづなをより強いものにしました。



ってどんなまち?!

知っているようで 意外と知らない **自分たちのまち**



プロ
フィール

●生まれ／九州・鹿児島県

●前住所／森町（道南）

●勤務先／標津化成(株)

（製造部長）

●年齢／46歳

●趣味／魚釣り、花栽培

●今年8月に標津町民となる。

家族は現在、奥さんと小学1年

生のお嬢ちゃんの3人暮らし。

◆今回インタビューに

答えてくれたのは…

『浦野 昇』
うらののぼる
さんです

—若草町—

—北海道を初めて訪れたのはいつ頃ですか？また、その頃どこに住んでいましたか？

そうですね二十年位前になりました。スキーでニセコに来たのが初めてでした。

その頃は、鐘淵化学工業(株)のメイン工場である兵庫県高砂市の高砂工業所に勤務し、同市に住んでいました。

—その後訪れたのは？

残念ながら、昨年四月までの二十年間もなかったんです。転勤で兄弟会社のある道南の森町に来たのがようやく二回目となりました。

—北海道のイメージは？

ゆったり感覚で、山があり、ヨーロッパのイメージがありました。まちとまち、家と家ももっと離れていると思いました。

上川の「土別」と思っていた「しべつ」

—「しべつ」に住む前に「しべつ」って知っていましたか？

森町から「しべつ」に転勤と聞かされましたが、正直言ってどの辺にあるまちなのか知りませんでした。

最初は上川管内の「土別」だと…。地図を広げて、知床のすぐ近くだと知り、自然に恵まれた所で、

自分ではよかったと思いましたが。私は都会がどうも苦手です。

公共施設が整備されていることに驚いた

—「しべつ」に来て、まず驚いたことは？

飛行機から下を見下ろすと、畑に防風林がきれいに植えられていることと、冬は寒いですが、家の室温が高すぎる。兵庫県では冬でも22℃に設定、暑ければ服を脱ぐし、寒ければ着る。こちらは汗ばむほど暖房を使っていることに驚きました。

また、人口の割には公共施設がかなり整備されていることにも驚きました。会社の上司から話を聞かされていましたが、予想以上でした。

魚釣りできて最高の「しべつ」

—実際に住んでみてどうですか？

引越の際にいろいろと近所の方々に、ゴミの出し方などアドバイスを受け、たいへん心強く思いました。都会では隣り近所の付き合いがなく、ここにはそのよさが残っていますね。

新しく 町民になった方に 聞きました!

『しべつ』

外から見た『しべつ』は…?

私は魚釣りが好きで、最近、標津の前浜でコマイ釣りに行ってます。それがけっこう釣れるんですよ。私にとっては最高。本州の工場の仲間から「うらやましいな」と言われています。

日曜お休みの商店?! つい中標津へ

商店街のことを言えば、日曜日にはほとんどの店が閉まっていますね。仕方ないので中標津に行ってしまう。開いていれば買うのですが…。また、人間は夜型傾向にあるので、商店もこれに対応し、営業時間の延長なども今後、考えていく必要があるのではないのでしょうか。

自然の中の 無残なゴミ?!

自然のことを言えば、せっかくこんなすばらしい自然がいっぱいあり、きれいな花もある。しかし、空き缶やタバコの吸い殻などのゴミが無残に投げ捨てられているのが目につきます。たぶん観光客の方が投げているかもしれませんが、まず町民一人ひとりが気をつけたいものです。

職場ぐるみで参加の スポーツを

——スポーツについては?
スポーツの町と聞いてましたが、そうかな?と思います。剣道、卓球など確かに上の大会に出場しているそうですが、イメージとしてもっとグラウンドで野球やサッカーなど盛んに歓声が沸いて、に

サケの消費拡大は調 理方法のPRから

——『しべつ』は一昨年までサケの水揚げ日本一ということは知っていましたか?
ここに来るまで知りませんでした。
——サケの消費拡大のPRについては?



完成したばかりの工場で張り切る浦野さん

ぎやかな光景が目に見えそうです。職場ぐるみでできる気軽なスポーツの大会などが多くあればと思います。うちの会社はまだ、できたばかりで、町民との交流の場としてもいいし、会社の若い人たちはお嫁さんをもつこともあり、出会いの場ともなりますね。また、家族も応援に来て、和やかでいいですよ。

都会ではサケを生で一本まるごと贈られても処理できず、塩サケしか食べたことがないのが実情。本州でサケの調理方法のPRを聞いたことがないことから、消費拡大の上からPRは必要だと思います。

しべつのサケは品質が良いと聞いているので、これからは品質で勝負すべき。生だけでなく一次、

二次加工して、バリエーションをもって工夫を。例えば、サケのルイベやチャンチャン焼きなどは人気が出るのではないのでしょうか。

イベントは開催前の 盛り上げが必要

——イベントについては?
今年のあきあじまつりでは、イクラ丼の無料提供がよかったですね。大阪から来ていた会社の人たちも大喜びでした。

イベントのPRですが、もっと看板を人目につく場所に設置してはどうか。通る度に「〇日にあるんだな」と思う。チラシもよいが、見てすぐたんで終りになってしまう。開催前の盛り上げが必要ですね。

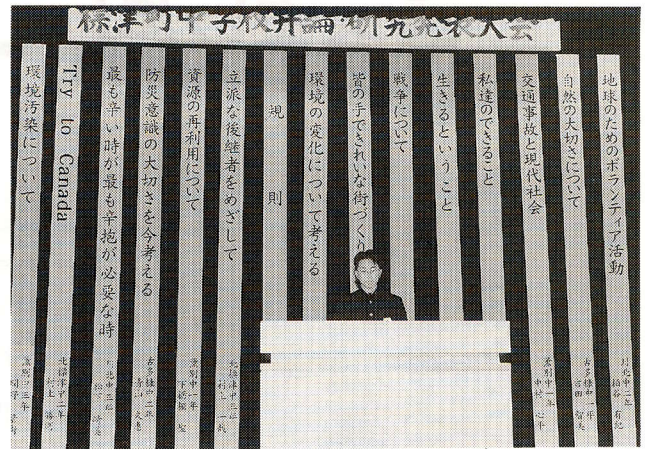
——最後に町民の皆様にと一言どうぞ

私としてはしべつは自然に恵まれ、いい人ばかりだし、早く町民として溶け込もうと努力しています。転勤はあるが、来たからには当分暮らすつもりです。町民からも、「いい人が来た」「いい会社も来た」と思われるように努力するので、皆さんよろしく願います。

——ありがとうございます。

「環境問題、将来の夢」など 堂々と主張

標津町中学校 弁論・研究発表大会



自らの主張を力強く発表する弁士

標津町中学校連盟主催の第三十

四回標津町中学校弁論・研究大会が、十一月四日、町農村環境改善センターで開かれました。

弁論の部では十五人が、研究発表では六校が出場、様々なテーマで自らの主張を発表しました。

各部の最優秀賞は次のとおり。

〈弁論の部〉

▽松下晴美（川北中三年）「最も辛い時が最も辛抱が必要な時」

〈研究発表の部〉

▽古多糠中学校（中條和代表）

「古多糠小中学校周辺における鳥類相について」

この度、弁論の部で最優秀賞に輝いた松下さんの弁論内容を紹介します。

『最も辛い時が 最も辛抱が 必要な時』

川北中学校三年

松下 晴美

人が最も辛い時、苦しい時、一番に思いつくことばは文字どおり「苦しい」「辛い」と考えると思います。私も今年の春まではそう思っていました。しかし、あることをきっかけに私は違う考えをもつようになつたのです。

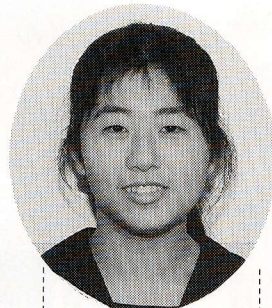
私は今年の春から、部活の部長、それも、ただの部長ではなく伝統ある吹奏楽部の部長を務めています。私の姉も二年前、この部長を

務めていました。

部長になつた日、私は姉にこんなことを言われました。

「部長はプレッシャーのかたまりだよ。プレッシャーに押しつぶされるんじゃないよ、私はその一言がからかっているかのように聞こえ、それほど深く考えていませんでした。しかし、だんだん日がたつにつれて色々なわきが耳に入ってきました。

「一年生の時にレギュラーメンバーから落とされた人が部長なんて務まるんだろっか」とか、



松下 さん

「ほかの三年生の部員なんて小学生的の時から吹奏続けてきたのに松下さんなんて中学校から始めたんだよ」と...

中にはこんなことを聞いたこともありました。「松下さんが部長！本当に？今年で川中吹奏部もおしまじじゃない？だって松下さんが部長でしょ。全道大会なんて行けるわけじゃないじゃない」。

それを聞いた時私は大きなショックを受けました。他のみんなも私のことを「部長」として見ているのではなく「初心者」として見ているのではないかと思ひ込んで

しまったのです。それから、やっと悔しさがわいてきて一週間ほど学校から帰ってきたのは、部屋にこもって泣いていました。

「もう部長なんていやだ。誰か私の代わりに部長やってよ！」泣きながら、そういう言葉が頭の中で行ったり来たり。この時こそがまさに私の「最も辛い時」でした。

だれにんと言つて相談すればいいの。でも、相談したからといって何が得られるのか。だれかに相談して立ち直ろうとしていたはずなのに、

余計に混乱してしまいました。

そんな私を立ち直らしてくれたのは、一年生の時の部活の先生でした。今はもう転動してしま

い身近にはいませんが、思い切つてその先生に電話をして見たのです。帰ってきたのはこんな言葉でした。

「晴美、部長は部の中で一番大きな存在なんだぞ、吹奏部を車にたとえたら部長はエンジンにあたるんだよ。エンジンが壊れたら、もうその車はただのガラクタだ。ということは、部長がくじけたら部の全体、崩れるということと同じ

なんだよ」。

それを聞いて私は「このままでは本当の初心者になってしまう。泣いてなんていられない。部を引っ張っていくのは、この私なんだ。あんなこと言われたからって、落ち込んでなんていられないんだ」と思いました。

この時に頭に浮かんだのが「最も辛い時が最も辛抱が必要な時」という言葉でした。私は気持ちを切り替え「三年連続の全道大会出場」、そして、一年、二年と果たせなかった「全道大会金賞」という目標を頭において練習してきました。練習の時もできなくて、くじけそうになったことが何度かありましたが、あきらめずに、耐えてきました。そして念願の「全道大会金賞」を手に入れることができました。

私があの時、くじけていたらチームワークが乱れみんなに迷惑をかけていたと思います。「最も辛い時が最も辛抱が必要な時」私は、この言葉に助けられたような気がします。

この言葉で今までやってこれた部長も数日たったなら新部長へバトンタッチしますが、私はこの言葉を胸に、これからもどんなに辛いことがあっても全力で立ち向かおうと思います。



⑧



すがわら ま ゆ み
管原 真由美さん (22)
— 標津町商工会勤務 —

「仕事は迅速・確実をモットーに」

- ▷昭和47年弟子屈町生まれ。O型、水瓶座。
- ▷標津高校卒業後、根室信用金庫標津支店に入社。平成5年4月に現在の商工会に勤務
- ▷仕事で気を使っていることはと聞くと、「迅速・確実をモットー」にと話す彼女。
- ▷趣味は音楽鑑賞と料理。得意な料理はハンバーグ、ロールキャベツ…。早く食べさせてあげる彼氏を募集中とか。

工藤 (敏恵 文子) さんちの

しゅん
駿 くん

(H5.12.21生)

薫 別 104



☆生まれた時の身長・体重は
身長／47.0cm
体重／2,800g

☆今ではこんなに大きく
なりました。

身長／73.4cm
体重／ 9.9kg



お母さんからひと言

「1ヶ月早く生まれたのにもかかわらず、健診ではちょっと太りすぎと言われてしまいましたが、カゼもひかずとても元気です。自分の思うようにいけないと後ろにひっくり返って怒る「駿」ですが、まだつかまり立ちもできずただいま特訓中！」

「誕生日まで歩くことは無理なので、ハイハイをしてオモチをしょわないとならないでしょう」。

ロシア語

会話教室

— LESSON 8 —

ズドラーストヴィチェ!

(こんにちは)!

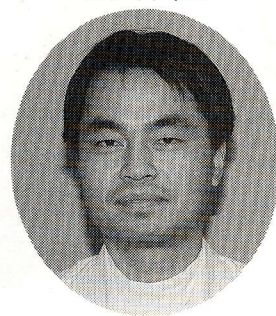
ロシア語教室も8回目、皆さん
上達しましたか?

今月は魚です。

魚	ルイーバ РЫБА	コマイ	ナヴァーガ навага
シロザケ	チャヴィーチャ чавыча	カレイ	カームバラ камбала.
カニ	クラブ краб	タラ	トリエスカー треска

標津病院の医師を紹介します

〔内科医〕



鬼塚 義久 (院長)

「だれもが気軽に」

「かかれる病院に」

▽年齢—31歳

▽生まれ—九州・宮崎県

▽出身大学—自治医科大学

▽趣味—ゴルフ・野球

▽標津の第一印象—

「広くて、自然がいっぱい。寒い
が、魚介類が新鮮でおいしい」

▽抱負—

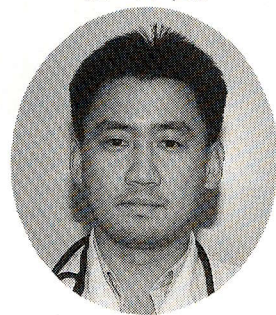
「だれもが気軽にかけられる病院に
したい」

町民のみなさんの健康回

復のため、3人で全力を

尽くし診療にあたります。

〔外科医〕



光岡 正浩

「誠心誠意を」

「もってがんばる」

▽勤務期間—平成7年3月31日ま

で(6カ月間)

▽年齢—30歳

▽生まれ—九州・佐賀県

▽出身大学—久留米大学

▽趣味—スキー・スキューバード

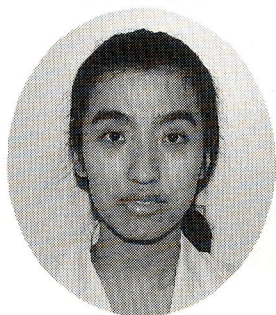
▽標津の第一印象は—

「みなさん気さくで、いい人ばかり。
交通事故が多いこと」

▽抱負—

「誠心誠意をもって、自分ができ
る範囲で全力を尽くし、がんば
りたい」

〔内科医〕



合原 るみ

「カゼは悪化する」

「前に治したい」

▽勤務期間—平成7年2月28日ま

で(4カ月間)

▽年齢—26歳

▽生まれ—九州・福岡県

▽出身大学—久留米大学

▽趣味—読書・映画鑑賞

▽標津の第一印象は—

「とにかく寒いのにびっくり。九
州とは20℃の気温差があります」

▽抱負—

「カゼの患者さんが多いようなの
で悪化する前に治してあげたい」

『時事川柳』を 募集します

新年号から、「時事川柳」
のコーナーを始めます。

ハガキまたは、用紙に川
柳と住所、氏名を記入の上、
役場広報統計係に郵送また
は、持参してください。

匿名でもかまいません。
たくさんの川柳をお待ちし
ています。

町の年末・年始の業務

- 役 場—〈12月30日御用納め、1月6日御用始め〉
12月31日から1月5日まで休みとなります。
休み中の急用については受け付けます。
(※12月30日午後から閉庁)
- 町立病院—12月30日から1月5日まで休診となります。
休日の急患は受け付けます。
- 中央公民館—12月31日から1月5日まで休みます。
- 川北公民館—12月31日から1月5日まで休みます。
- し尿くみ取り—12月30日から1月8日まで休みます。
- ゴミ収集—12月31日から1月5日まで休みます。

まちづくり振興補助金を ご利用ください

町民の方々の自主的なまちづくり活動を資金面から支援する制度として「標津町まちづくり振興補助金」があります。

この補助制度の目的は、自主的なまちづくりの推進と、活動の輪を広げてもらおうというものです。

対象となる事業は、次のとおりとなっていますので、どうぞご利用ください。

▶補助対象者

町民で組織する団体

▶補助対象事業

- ①まちづくりイベント事業
- ②個性的、地域的な産業振興事業
- ③まちづくり振興のための後援会等研修事業
- ④その他、まちづくり振興上、特に必要と認められる事業

▶補助率及び限度額

補助対象経費の3分の2以内、1件につき3万円以上100万円以内

●お問い合わせ先

役場企画振興課 (☎2-2131内線111) へ。

東方沖地震による 被災者の皆様へ

町では、北海道東方沖地震で被害を受けた住宅や事業経営施設の復旧などのため、金融機関から資金を借入れた方に対し、利子の一部を補助いたします。

詳しくは、広報に折り込みしたチラシをご覧ください。

なお、手続は12月20日までとなっていますので、お早めに手続願います。

—役場福祉保健課・農林課・商工観光課—

盗難の防止対策は 万全ですか？

警察では、年末に多発する犯罪や事故などを未然に防止するため、特別警戒を実施しています。

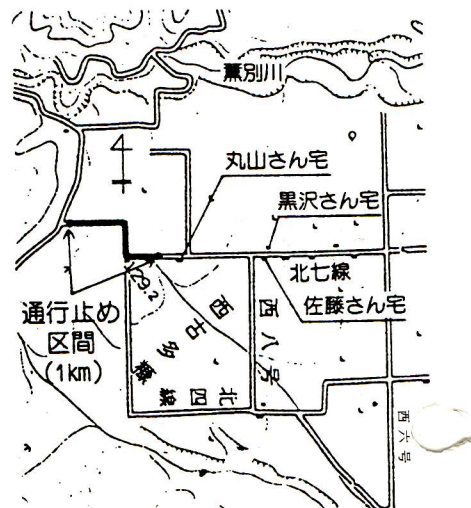
町民の皆様も次のことに気をつけて犯罪防止にご協力ください。

- 金融機関からの多額の現金の引き出しは、できるだけ2人以上で行う。
- 長期間留守にする時は戸締まりを確認し、お隣りに一声かけて。
- 凶悪事件の多くは盗難車が使用されます。車から離れる時は「キーを抜き、

ドアロックを」。

—中標津警察署—

道路の通行止めのお知らせ



上記の図のとおり、古多糠地区の「一般道道古多糠川北線」の一部を冬期間のため、通行止めとしますので、お知らせします。

▶期 間

平成6年12月1日から

平成7年4月10日まで

—釧路土木現業所中標津出張所 (☎01537-2-3213) —

町長の動静

10月21日～11月20日

- ▽10月28日(町内) 臨時町議会
- ▽10月31日(釧路) 根室地方総合開発期成会陳情 (地震災害復旧、開発予算)
- ▽11月1日(札幌) 北海道町村会政策研究会
- ▽11月4日(札幌) 栽培漁業基金運営委員会
- ▽11月7～9日(札幌・東京) 根室地方総合開発期成会陳情
- ▽11月10日(中標津) 報道関係者との懇談会
- ▽11月11日(札幌) 職員共済組合役員会
- ▽11月15日(帯広) 帯広営林局管内国有林野所在市町村長連絡協議会総会
- ▽11月18日(東京) 道路関係予算確保全道総決起大会及び中央陳情
- ▽11月19日(根室) 鈴木衆議院沖縄及び北方問題特別委員長に対する陳情会
- (地震災害復旧、開発予算)

寄付ありがとうございました

いっしょにがんばりました

- 町に東方沖地震の見舞金として—北海道自治体労働組合連合、北海道市町村職員共済組合、北海道市町村職員福祉協会
- 町社会福祉協議会に— 蔭山秀夫さん・田中照さん (香典返しをやめて) 聖友標津支所 (活動資金として)
- はまなす苑にタオルを— 弥生会・ラッコクラブ
- 町に桜の苗木を— (株)上田組

人口のうごき

平成6年11月1日現在
()は前月比

人	口	6,860人	(- 5)
男		3,335人	(- 2)
女		3,525人	(- 3)
世帯数		2,326世帯	(- 2)

町内の交通事故

11月

()は累計

人身事故	3件 (8件)
負傷者	4人 (19人)
死亡者	0人 (1人)
物損事故	17件 (161件)
死亡事故ゼロの日	

278日(11/15現在)

「冬の交通安全運動」 実施中!

「安全はスピードダウンとゆとりから」

■期間 12月1日から10日

■重点 ・スリップなどによる交通事故の防止
・飲酒運転の防止
一中標津警察署・役場住民課一

☆12月のスポーツ☆

4日

第17回秋季町民卓球大会
〔9時～標津中体育館〕

・第2回町親睦ソフトバレーボール大会
〔9時30分～川北体育館〕

11日

・第21回教育長杯争奪バスケットボール大会
〔9時～標津高体育館〕

・第18回管内中学校剣道新人戦優勝大会
〔9時30分～鳩ヶ丘体育館〕

17日

・アシックスちびっ子バレーボール教室
〔14時～標津中体育館、18日も9時～同場所〕

18日

第13回町防犯少年剣道大会・第18回東西対抗剣道大会
〔9時～鳩ヶ丘体育館〕

27日

・町営スケートリンク落成式・オープンセレモニー
〔10時～町営スケートリンク〕

体育館からのお知らせ

東方沖地震による被害のため、総合体育館は、復旧するまでしばらくの間使用できません。

町民のみなさんにご不便をお掛けしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

健康相談・健診日程表

〈12月分〉

乳幼児

■乳児健診

19日(月)

〔13時～13時30分／農改センター〕

■乳幼児相談

13日(火)〈標津〉

〔9時30分～10時30分／農改センター〕

※午前の部 10・13カ月児、午後の部 4・7カ月児対象

15日(木)〈川北〉

〔13時30分～14時30分／川北公民館〕

※4・7・10・13カ月児対象

■離乳食教室

14(水)

〔13時30分～農改センター〕

■1才6カ月児健診

20日(火)

〔9時～10時／役場2F集会室〕

■3才児健診

21日(水)

〔13時～14時／役場2F集会室〕

■歯ピカ教室

5日(月)・6日(火)

〔9時30分～10時30分、13時30分～14時30分／農改センター〕

成人

■一般健康相談

7日(水)

〔13時30分～15時／茶志骨パイロット会館〕

15日(木)

〔10時～11時30分／川北公民館〕

22日(木)

〔13時～16時／役場相談室〕

■糖尿病健康相談

16日(金)

〔10時～16時／役場相談室〕

※農改センター…農村環境改善センターの略

ごみの収集日

曜日	一般廃棄物収集区域 (祭日は休みです)〈有料〉	不燃物収集日 〈無料〉
月・木	新川上町・若草町・川上町・栄町・緑町・弥栄町・曙町	12月8日・12月22日 1月9日 (木)
火・金	本町・鳩ヶ丘町・双葉町・望ヶ丘町・桜木町・住吉町・東浜町	12月9日・12月20日 (金) (火) 1月10日 (火)
水・土	川北市街・伊茶仁・忠類・浜古多糠・薫別・崎無異・古多糠	12月7日・12月21日 1月11日 (水)

★ごみは指定された日に指定された場所へきちんと出しましょう。

情報 BOX

役場の☎は
2-2131 (代表)

特設人権相談所を 開設します

12月4日から10日までは「人権週間」です。

皆さんが、毎日の生活を営んでいく上で、これは人権問題ではないだろうかと感じたり、法律上どのようになるかわからないため困ったりすることがあると思います。

法務局や人権擁護委員は、『夫婦親子・相続・金銭貸借・不動産・借地借家・いじめ・体罰・名誉信用・差別・公害』等の問題、その他心配ごとなどの相談に応じます。

よって、次のとおり「特設人権相談所」を開設しますので、お気軽に相談してください。

■日時 12月5日10時～15時

■場所 標津町役場1階会議室

相談は無料で人権擁護委員、法務局職員が相談に当たり、秘密は固く守られます。

〈私のまちの人権擁護委員〉

矢吹弘照（川北）☎5-2056

正田敏一（標津）☎2-2103

※相談所開設時以外でも随時相談を受け付けますのでお気軽にどうぞ。

※詳しくは、釧路地方法務局根室支局（☎01532-3-4874）へ。

歳末助け合い運動に ご協力を！

～みんなで明るくあたたかく

町民歳末たすけあい～

平成6年度の歳末たすけあい運動が12月1日から全国一斉に始まります。町内の恵まれない方々に多少の歳末見舞金を贈り、町民そろって楽しいお正月を迎えたいと思います。

この趣旨をおくみとりいただき、皆様のあたたかいご協力をお願いいたします。

す。

見舞金の使途については標津町民生委員児童委員協議会、標津町社会福祉協議会で十分検討され、各対象の方へ贈られます。

また、特に「大口篤志募金」の名目で、町内の事業主の方々に、共同募金会役員が直接伺いし、篤志募金のお願いを申し上げますので、その節はよろしく願いいたします。

一社会福祉法人北海道共同募金会
標津支部一

食生活改善推進養成 講座・受講者募集

■講座の目的

「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに健康づくりの三要素「栄養・運動・休養」について学び、実践していく方を養成します。

■対象者

今回は標津市街地区、沿岸地区（東浜町、住吉町、伊茶仁、忠類、薫別、崎無異）に住む婦人を対象とします。

■内容

年代別、病気別の栄養の摂り方を学んだり、調理実習を行います。

食品添加物についての学習や実験をしたり、成人病の知識を深めるための講習やエアロビクスなどの運動、皮膚のケアを学ぶための化粧講座、80才まで20本の自分の歯を残すための講座など、健康づくりに関するテーマを掲げて、展開していく講座です。

■養成講座期間

平成7年4月から平成9年3月までの2年間（平成7年度は10回の講座を予定しています）。

■申し込みお問い合わせ先

役場保健指導班（☎内線131・138）へ、平成7年1月9日まで。

統計調査にご協力を！

12月31日を調査日として、平成6年工業統計調査と石油等消費構造統計調査が今年も実施されます。

対象となる事業所には、統計調査員が調査票をもって伺います。ご協力をよろしくお願いいたします。一役場企画振興課一

郵便局からの お知らせ

■年賀状はお早めに出してください。

年賀状の受付は12月15日から始まります。郵便局では、大量の年賀状をお正月にお届けするために、計画的、能率的に作業を進めることとしております。

郵便局職員は一通でも多くの年賀状を元旦に配達することができるようにならなくては作業に当たりますが、皆様も年賀状は12月24日までに郵出いただきますようご協力をお願いします。

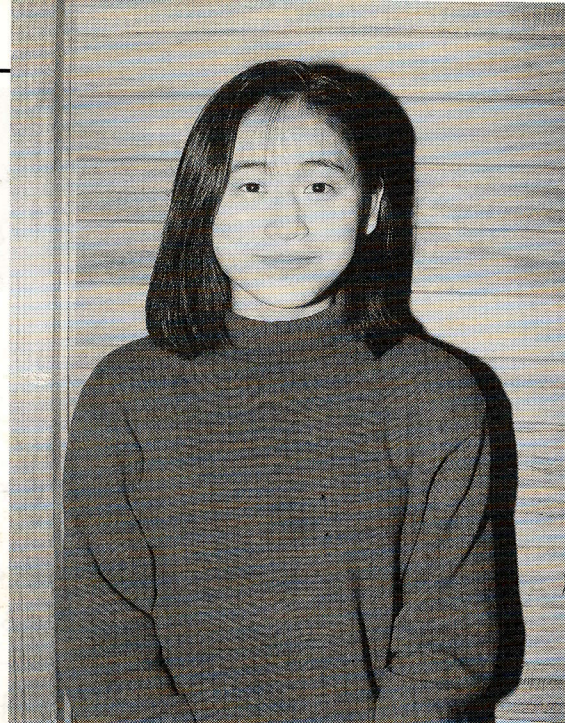
ガス漏れに ご注意を

■ガス漏れに気づいたら…

- ①器具コックや元栓を閉める。
- ②付近の使っている火気をすべて消す（電気のスイッチを切ると火花で引火する危険があるので離れている場所で電源を切る）。
- ③窓や戸を開けて換気を十分に行う（うちわなどで外にあおぎ出す）。
- ④ガスの種類によって滞留するところが違うので、ご家庭で使用しているガスの性質を知っておく。（プロパンガスは、空気より重いので床の低いところにたまります）。
- ⑤ガスの匂いが、強い時は、隣近所に知らせて火気の使用を中止させる。
- ⑥消防署やガス取り扱い業者にすぐ連絡をする。一標津消防署一

ま ち の 声

104



えびな くみこ
蛸名 久美子さん

(望ヶ丘町)

=古多糠小中学校勤務=

私は以前まで、自分の生まれ育ったまち、標津町にいろいろな面で「もっとこうなればいいのに」「もっとこうしたらいいのに」と思うことがたくさんありました。ですから、高校卒業後、短大に通うために標津を離れることになった時は、さみしさよりも、喜びを感じたものでした。

しかし、二年間標津を離れ、違う土地で過ごして見て思ったことは、「やっぱり標津がいいな」ということでした。確かに短大に通っていた時は、遊ぶ場所や買い物をするお店もたくさんあり、それに楽しく過ごしていました。が、標津と比べると、空気は汚れているし、水も食べ物もおいしいとは感じられず、たくさん建物や人混みの中で、息苦しさを感じることもありました。

その点、標津は海や山、川といったたくさん自然に囲まれ、空気も水も、そして何より食べ物がとてもおいしく、生活していくのにとっても良い環境なのです。私はこの町を離れて見て、改めてこのことを実感し、標津に生まれ育ち、また戻ってくるのができてよかったと思っています。

ただ私がさびしいと感じたのは、標津町の剣道人口が減っていることです。私は小学生の頃から剣道をやっていた、標津に戻ってきたから何度か少年団の練習に参加しましたが、私の小さい頃から比べるとずっと人数が減っているのです。

昔は、それこそ体育館いっぱい大きな声が響き、活気があった少年団も、今では当時の半分ぐらいの人数になっていました。これは、今の子供の数の減少ということと考えると仕方ないことなのかもしれません。が、標津は「スポーツの町」、特に剣道は町技でもあるので、昔のようにもっと人数が増えて活気ついてほしいと願っています。

『標津について』

思うこと

標津についていろいろと書いたことを書きましたが、最後に私は、このまちはずっと変わらないでほしいと思います。何年たっても何十年たっても、自然に囲まれた住みよいまちであってほしいと思います。

※次の「まちの声」は桜木町の新田義信さんです。

戸籍の窓口から (10月16日～11月15日届出分)

お誕生おめでとう

おなまえ	住所	保護者
松上 莉菜ちゃん	東古多糠	松上 秀 敏
太田 智絵ちゃん	茶 志 骨	太田 俊 巳
白濱有希子ちゃん	本 町	白 濱 郁 夫
櫻井 優介くん	寿 町	櫻 井 正 人
開坂 祐太くん	薫 別	開 坂 寿 一

おくやみ申し上げます

氏 名	住 所	年 齢
蔭山 ハナさん	西 川 北	87 歳
竹野 知子さん	茶 志 骨	56 歳
田中 恵さん	北 標 津	72 歳

ご結婚おめでとう

夫 の 氏 名	妻 の 氏 名	住 所
手 嶋 幸 治 さん	石 井 ひ と み さん	曙 町
杉 山 佳 尚 さん	今 井 織 江 さん	薫 別
山 田 博 幸 さん	山 崎 美 幸 さん	曙 町
阿 部 徹 さん	松 田 香 さん	寿 町
尾 前 幸 太 郎 さん	山 保 美 喜 代 さん	曙 町
滝 本 貴 美 雄 さん	向 山 裕 子 さん	東 川 北

※広報に掲載した方の写真を差し上げます。

希望者は役場広報統計係

☎2-2131内線110まで。